

- 1965 ● 「黄色いワッペン」贈呈事業開始
- 1976 ● (財)安田火災美術財団(現:(公財)損保ジャパン日本興亜美術財団)設立
- 安田火災東郷青児美術館(現:東郷青児記念 損保ジャパン日本興亜美術館)開館
- 1977 ● (財)安田火災記念財団(現:(公財)損保ジャパン日本興亜福祉財団)設立
- 1987 ● 『ひまわり』(ゴッホ)一般公開開始
- 1989 ● 人形劇場「ひまわりホール」(名古屋)を開設
- 1990 ● 「地球環境室」を設置
- 1991 ● (財)日本興亜福祉財団(現:(公財)損保ジャパン日本興亜福祉財団)設立
- 1992 ● ◇ リオ・デ・ジャネイロで「環境と開発に関する国連会議(地球サミット)」開催

地球サミットへの参加
 1992年、ブラジルのリオ・デ・ジャネイロで、「環境と開発に関する国際連合会議(地球サミット)」が開催され、「気候変動枠組条約」および「生物多様性条約」が採択されました。この地球サミットに、安田火災(現:損保ジャパン日本興亜)の社長(当時)が、経団連ミッションの団長として参加しました。
- 1993 ● 「市民のための環境公開講座」開始
- 役職員のボランティア組織を発足
- ボランティア休暇・休職制度導入
- 1995 ● 国連環境計画・金融イニシアティブ(UNEP FI)「保険業界環境声明」に署名
- 1996 ● 役職員有志による社会貢献ファンド開始
- 1997 ● ISO 14001(環境マネジメントシステム)認証取得(国内金融機関初)
- 1998 ● 「環境レポート」発行(国内金融機関初)
- ISO 14001認証取得コンサルティング開始
- 森林整備活動を開始
- 1999 ● (財)安田火災環境財団(現:(公財)損保ジャパン日本興亜環境財団)設立
- SRIファンド『ぶなの森』運用開始
- 2000 ● 「CSO ラーニング制度」開始
- 2002 ● ◇ ヨハネスブルグ「持続可能な開発に関する世界首脳会議」開催
 - 「持続可能な発展のための世界経済人会議(WBCSD)金融セクター声明」署名
 - 「第1回CSRステークホルダーミーティング」開催
- 2004 ● SRIファンド『未来のちから』運用開始
- BCM(事業継続マネジメント)コンサルティング開始
- 2005 ● (株)ヘルスケア・フロンティア・ジャパン(現:SOMPOリスケアマネジメント(株))設立
- 「カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト(現:CDP)」参加
- NPO基盤強化資金助成開始
- 2006 ● 国連グローバル・コンパクト(UN GC)に参加
- 責任投資原則(PRI)に署名
- 大学における寄付講座を開始
- 2007 ● (株)損保ジャパン・ヘルスケアサービス(現:SOMPOリスケアマネジメント(株))設立
- 損保ジャパン東郷青児美術館(現:東郷青児記念 損保ジャパン日本興亜美術館)にて「対話による美術鑑賞教育」開始
- 「カーボン・ニュートラル宣言」を発表
- 「エコ安全ドライブコンテスト」開始
- 環境大臣から「エコ・ファースト企業」に認定

*◇は、社会の動きを示します。

1965～ 6,332 万枚

「黄色いワッペン」贈呈事業
 全国の小学校新入学1年生に対して、交通事故傷害保険付きの「黄色いワッペン」を贈呈しています。これまでの累計贈呈枚数は2016年4月で約6,332万枚になりました。

1976～ 543 万人

東郷青児記念
損保ジャパン日本興亜美術館
 ゴッホの『ひまわり』をはじめ、ゴーギャン、セザンヌ、東郷青児、グランマ・モーゼスの作品を常設展示しています。2016年3月には累計入館者数が約543万人となりました。

1977～ 13億6,154 万円

NPOなどの福祉団体への助成
 損保ジャパン日本興亜福祉財団は、社会福祉の最前線で活躍する団体などに対する助成を行っています。2015年度末で累計2,218件、13億6,154万円を支援しました。

1991～ 15,900 人

認知症高齢者を介護する家族の支援
 損保ジャパン日本興亜福祉財団では、「(公社)認知症の人と家族の会」が行う研修・交流事業を支援し、2015年度末で累計15,900人が参加し、総額1億9,415万円を支援しました。

1993～ 18,517 人

市民のための環境公開講座
 (公社)日本環境教育フォーラム、損保ジャパン日本興亜環境財団、損保ジャパン日本興亜の三者共催で、環境問題を深く考え、具体的な活動を実践することを目的として開催しています。2015年度末で累計18,517人の方々に参加いただいています。

1999～ 約203 億円

SRIファンド『ぶなの森』
 損保ジャパン日本興亜アセットマネジメントが運用するSRIファンド『ぶなの森』は環境経営度に優れた日本企業に投資しています。2016年5月末時点の純資産総額は約203億円にのぼります。

2000～ 902 人

CSO ラーニング制度
 損保ジャパン日本興亜環境財団は、環境分野の人材育成に取り組み、大学生・大学院生を環境NPO/NGOへインターンシップ派遣を行う「CSO ラーニング制度」を実施しています。参加者は2015年度末で累計902人となりました。

57

CSR コミュニケーションレポート 2016

当グループは、時代の変遷とともにCSRの取組みを深化させてきました。

主な取組みについて現在までの成果をまとめています。

- 2009 自動車保険に「Web型約款」導入
- 2010 NKSJホールディングス(現:SOMPOホールディングス)の誕生
 - ・「NKSJグループの考えるCSR(CSR基本方針)」(現:グループCSRビジョン)策定
 - ・(財)損保ジャパン記念財団(現:(公財)損保ジャパン日本興亜福祉財団)がASEAN加盟国で海外助成を開始
 - ・タイで天候インデックス保険取扱い開始
 - ◆ 名古屋「生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)」開催
 - ・「生物多様性民間参画パートナーシップ」に参加
 - ◆ ISO 26000(社会的責任の国際規格)発行
- 2011 ◆ 東日本大震災の発生
 - ・国内外のグループ会社のESG(環境・社会・ガバナンス)情報収集開始
 - ・損保ジャパン中国(現:損保ジャパン日本興亜中国)が初のCSRレポート(中国語)発行
 - ・生物多様性保全プログラム「SAVE JAPANプロジェクト」開始
 - ・(公財)損保ジャパン環境財団(現:(公財)損保ジャパン日本興亜環境財団)「環境問題研究会」にて気候変動の「適応」に関する研究開始
 - ・(一財)日本興亜スマイルキッズ(現:(一財)損保ジャパン日本興亜スマイルキッズ)設立
 - ・「持続可能な社会の形成に向けた金融行動原則(21世紀金融行動原則)」にグループ10社(現:7社)が署名
 - ・NKSJボランティアデー(現:SOMPOホールディングスボランティアデー)開催開始
- 2012 ◆ グループの「CSR5つの重点課題」(現:グループCSR重点課題)策定
 - ・(株)プライムアシスタンスを設立、アシスタンス事業に参入
 - ・「女性のエンパワーメント原則(WEPS)」に署名
 - ◆ リオ・デ・ジャネイロ「国連持続可能な開発会議(リオ+20)」開催
 - ・持続可能な保険原則(PSI)に署名
 - ・(株)シダーの株式を一部取得し、介護サービス事業に参入
 - ・ISO 39001(道路交通安全マネジメントシステム)を世界で初めて認証取得
- 2013 ◆ 「地域貢献ecoプロジェクト」(現:地域貢献プロジェクト)開始
 - ・カーボン・ニュートラルを達成
- 2014 ◆ 「グループCSRビジョン」「グループ環境ポリシー」「グループ人間尊重ポリシー」「グループCSR6つの重点課題」(現:グループCSR重点課題)策定
 - ・グループCSR-KPI策定
 - ・日本版スチュワードシップ・コードに署名
 - ・東日本大震災復興支援 特別公開 ゴッホの《ひまわり》展の開催
 - ・防災ジャパンダプロジェクト開始
 - ・インドネシアでの交通安全プロジェクト、ミャンマーでの母子保健プロジェクト開始
 - ・フィリピンで台風ガード保険取扱い開始
 - ・大手介護事業者(株)メッセージとの資本・業務提携
- 2015 ◆ リフォーム専業事業者(株)フレッシュハウス子会社化による住宅リフォーム事業参入
 - ・天候インデックス保険が国連開発計画が主導する「ビジネス行動要請(BCTA)」に認定
 - ◆ 2030年に向けた「持続可能な開発のための目標(SDGs)」が国連サミットで採択
 - ◆ 国連気候変動枠組条約第21回締約国会議(COP21)での「パリ協定」が採択
 - ・企業向け安全運転支援サービス『スマーリングロード』の全国展開、個人向けスマートフォン用アプリ『ポータブルスマーリングロード』の提供開始
 - ・ワタミの介護(株)(現:SOMPOケアネクスト(株))の完全子会社化など、介護市場における取組みを強化・加速
- 2016 ◆ 国内全グループ会社を適用範囲としたISO 14001認証取得
 - ・損保ジャパン日本興亜リスクマネジメント(株)、(株)全国訪問健康指導協会、損保ジャパン日本興亜ヘルスケアサービス(株)の3社が合併しSOMPOリスクアマネジメント(株)誕生
 - ・グループCSR重点課題の見直し

近年の主な取組みの成果をまとめています。



2009～ 3,610万件

自動車保険などに 「Web型約款」を導入

お客様の利便性向上と環境負荷削減の一環として、自動車保険の約款などを、紙に替えてホームページでご確認いただく仕組みを導入しています。2015年10月1日始期契約より、個人用火災総合保険でもWeb型約款を導入し、両保険で、累計3,610万件以上の契約で選択いただきました。



2011～ 3,000人

東日本大震災発生一継続的な 復興支援

震災発生後、3,000人を超える社員を現地へ応援派遣し、迅速な保険金支払いに従事しました。変化する現地ニーズにあわせ、現在も継続的な復興支援に取り組んでいます。



2011～ 30,982人

SAVE JAPAN プロジェクト

環境NPOなどと協働で市民参加型の生物多様性保全活動を行う「SAVE JAPAN プロジェクト」を47都道府県で実施しています。5年間で累計30,982人の方々にご参加いただきました。



2011～ 毎年 約10,000人

SOMPOホールディングス ボランティアデー

毎年、グループ社員の社会貢献マインド向上や被災地への継続的支援などを目的として開催しています。東日本大震災復興支援や福祉、環境などさまざまな活動が行われており、毎年約10,000人の国内外グループ社員が参加しています。



2014～ 20,000人

インドネシアでの 交通安全プロジェクト

日本における交通事故の予防・削減のノウハウ・経験を活かし、損保ジャパン日本興亜とPT Sompo Insurance Indonesiaは、(公社)セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンと協働で、西ジャワ州バンドンにおいて交通安全教育を実施しており、開始から2年間で20,000人以上の方に参加いただきました。



2014～ 約40回

防災ジャパンダプロジェクト

災害から身を守るために知識や安全行動を理解していただくことを目的に、パパッティスター・ゆめみトランクとNPO法人プラス・アーツと協働で、「防災人形劇」と「体験型防災ワークショップ」を、将来を担う子どもたちとその保護者を対象に実施しています。2016年7月末時点で、全国で約40回開催しました。

損保ジャパン日本興亜ホールディングス株式会社

〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1

TEL.03-3349-3000

URL <http://www.sompo-hd.com/>



16.09 [503112]-0101